

第19回腫瘍病理セミナー

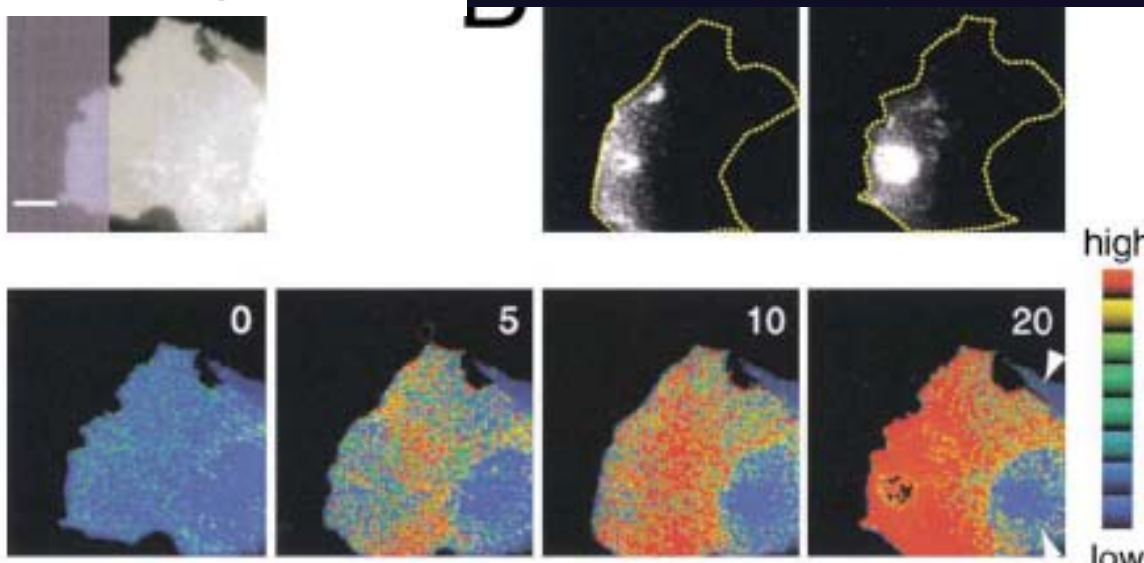
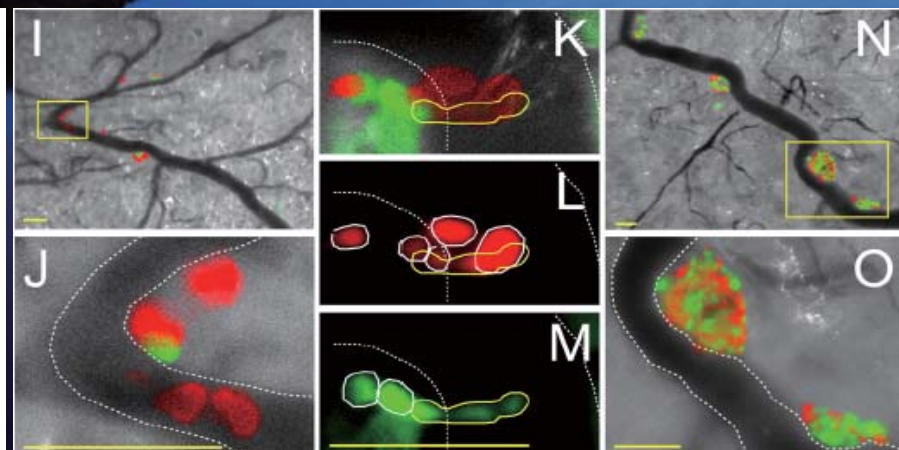
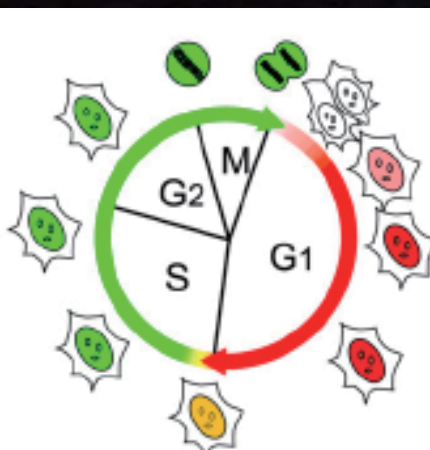
北陸がんプロFD 講演会



理化学研究所脳科学総合研究センター
細胞機能探索技術開発チーム 研究員

阪上 - 沢野 朝子

細胞社会の heterogeneity を可視化する 蛍光イメージング技術



A novel cell-cycle-indicator, mVenus-p27K-, identifies quiescent cells and visualizes G0-G1 transition. *Scientific Reports*, 2014

Visualizing spatiotemporal dynamics of multicellular cell-cycle progression. *Cell*, 2008

Lateral Propagation of EGF Signaling after Local Stimulation Is Dependent on Receptor Density. *Dev Cell.*, 2002

沢野博士は、東大医科研渋谷正史研究室にてチロシンキナーゼ FIt/VEGFR の研究に携わった後、1999年に宮脇敦史博士が理研にてラボを開いたのを機に、蛍光イメージングを始めました。マイクロ流路を用いた細胞の局所刺激や、細胞周期の蛍光プローブ Fucci など、数多くのユニークなツールの開発を行って、がん研究を含む細胞内信号伝達の解明を行っています。

日時：平成28年2月24日（水）
17時から
金沢医科大学病院
病院新館12階 特別会議室